

E4 東北自動車道

【 奥州スマート IC 】

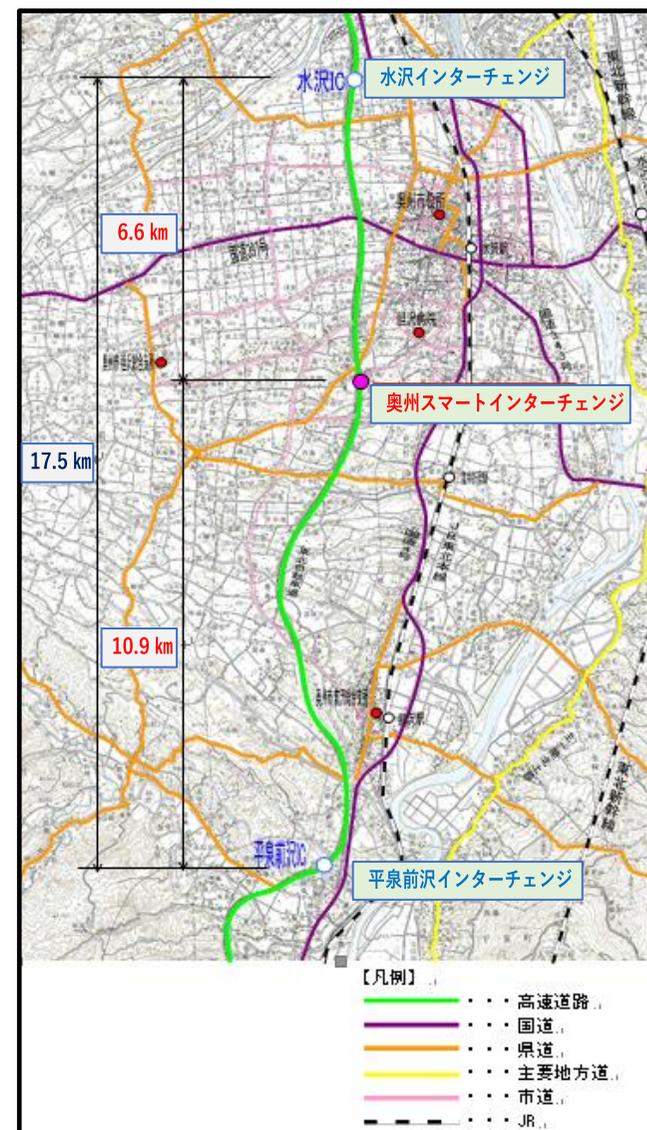
整備の効果

奥州スマート IC 地区協議会

【奥州市都市整備部都市計画課】

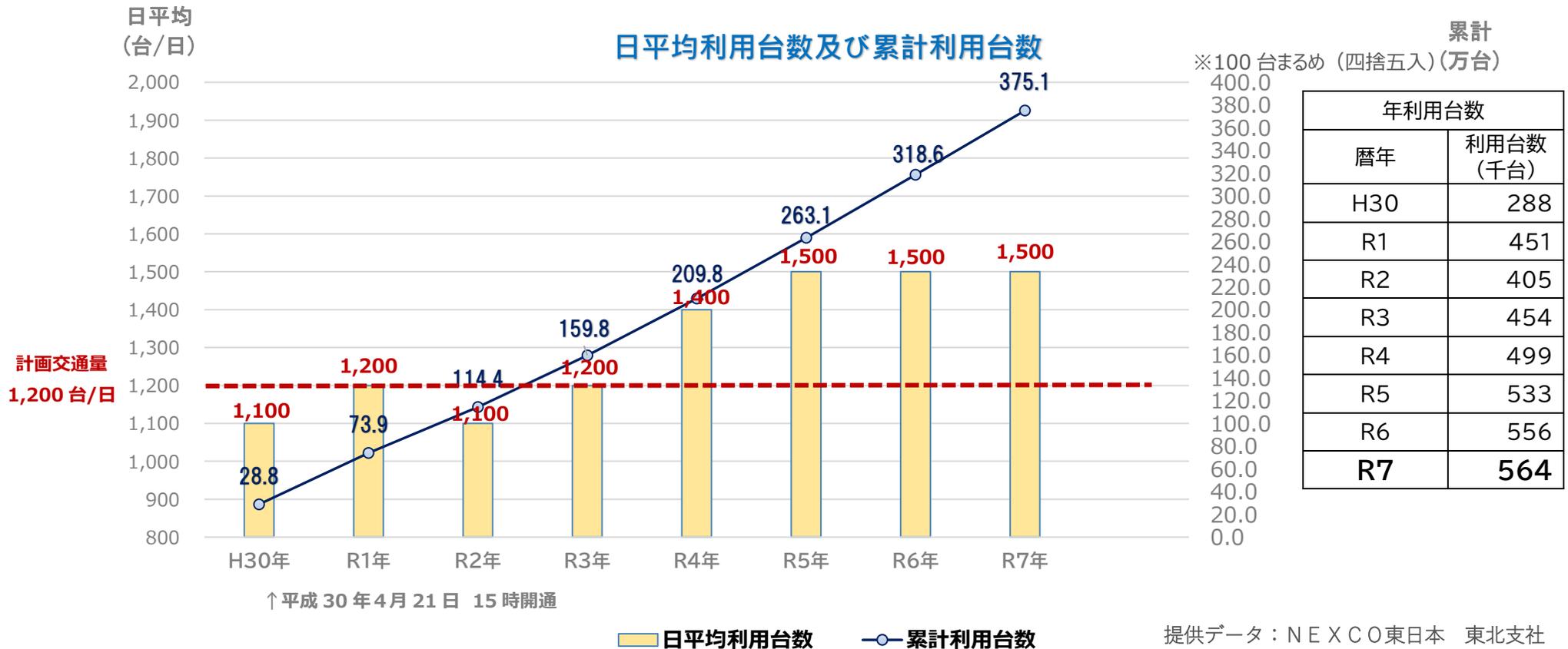
I 奥州スマート IC の概要

開通日時	平成 30 年 4 月 21 日(土)午後 3 時
位置	E4 東北自動車道 平泉前沢 IC～水沢 IC 間
接続形式	本線直結型
利用形態	一旦停止型フルインター形式
利用時間	24 時間
対応車種	ETC 搭載の全車種
計画交通量	1,200 台/日



II 奥州スマート IC の利用台数

- 平成 30 年 4 月 21 日の供用開始から令和 7 年 12 月 31 日までの**平均利用台数は 1,400 台/日**（計画交通量 1,200/日）、**累計利用台数は 375.1 万台**となっています。
- コロナ禍の影響により令和 2 年の日平均利用台数は若干下がったものの、令和 3 年以降は回復し令和 5 年以降の平均利用台数は **1,500 台/日**を維持しています。



III 奥州スマート IC の整備効果の検証

1 奥州スマート IC の整備効果

奥州スマート IC 実施計画書（平成 25 年 3 月）では、開通後に期待される整備効果として次の項目を掲げています。

◆整備効果《奥州スマート IC 実施計画書（平成 25 年 3 月）から抜粋》

①農業関連効果

スマート IC が設置されることにより、農畜産物の集出荷施設から関東圏までの出荷時間や大型産直施設までのアクセス性向上により、物流効率化や利用者の利便性向上が図られる。また、将来的な農畜産業の安定化や担い手確保にもつながる。

②救急医療・救急救命率の向上

スマート IC が設置されることにより、第二次救急医療機関の「県立胆沢病院」から第三次救急医療機関である「岩手県高度救命救急センター（岩手医科大学附属病院）」に重篤患者を搬送する時間が短縮し、救命率の向上が期待される。

③居住者の利便性の向上

スマート IC が設置されることにより、予定地周辺の住民の通勤、買い物や旅行、事業所の商品取引等の利便性向上が期待される。

④製造業への効果

スマート IC が設置されることにより、周辺工業地までのアクセス性が向上し、周辺工業地からの高速道路アクセスが容易となり、企業の生産性が向上するとともに、新たな企業誘致も期待される。

⑤観光客の増加

スマート IC が設置されることにより、観光施設へのアクセス性が向上し、来訪者の増加が見込まれ、地域の活性化が期待される。

⑥その他の効果

ア) 国際リニアコライダー（ILC）誘致 イ) 防災拠点へのダイレクトアクセス

2 奥州スマート IC の整備効果の検証

(1) 農業関連効果…基幹産業（農業）の振興 → 【効果：農畜産物の出荷時間短縮】

- 農畜産物の各集出荷施設からの出荷時間の短縮が図られた。
- 大型産直施設や集出荷施設までのアクセス向上により、物流の効率化や利用者の利便性の向上に寄与している。

《奥州スマート IC 実施計画書（平成 25 年 3 月）から抜粋》



「胆沢カントリーエレベーター落成」 2024.8.9



胆沢カントリーエレベーター

- ・ 各集出荷施設から近いことから、農畜産物の出荷、物流等の利便性の向上が図られたように感じます。
- ・ 胆沢の米出荷施設からは、関東圏、西日本圏への搬出が大半であり、高速道路を利用している。

小山、南都田 CE の 2 施設を統合し、新たに「胆沢 CE」を整備。

旧設備の老朽化、更に進む基盤整備による圃場の大区画化や農業機械の技術進歩等に対応し、業務の効率化と生産性向上を図るため、新施設を整備。



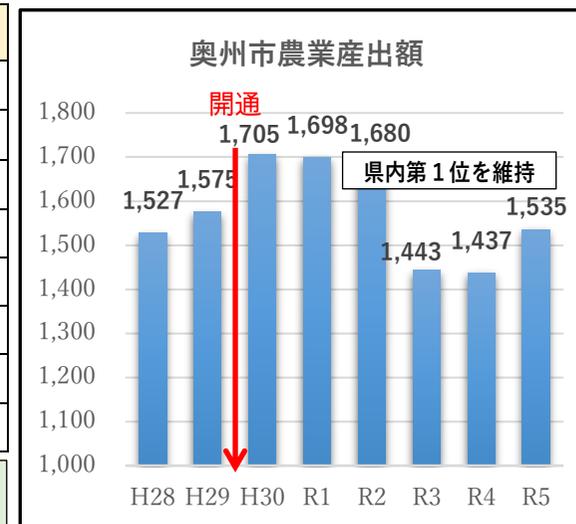
岩手ふるさと農業協同組合職員さん
米運送業者さん の声
(令和 7 年 11 月ヒアリング)

●県内農業産出額（耕種）の状況

出典：市町村別農業産出額（推計）〈農林水産省〉

単位：千万円

上位	1	2	3	4	5
令和5年	奥州市 1,535	花巻市 1,249	一関市 1,047	北上市 831	盛岡市 777
令和4年	奥州市 1,437	花巻市 1,182	一関市 987	北上市 784	盛岡市 758
令和3年	奥州市 1,443	花巻市 1,130	一関市 982	北上市 763	盛岡市 741
令和2年	奥州市 1,680	花巻市 1,336	一関市 1,138	北上市 902	盛岡市 845
令和元年	奥州市 1,698	花巻市 1,353	一関市 1,152	北上市 925	盛岡市 816
平成30年	奥州市 1,705	花巻市 1,376	一関市 1,134	盛岡市 823	北上市 814
平成29年	奥州市 1,575	花巻市 1,255	一関市 1,040	北上市 774	盛岡市 722
平成28年	奥州市 1,527	花巻市 1,220	一関市 1,025	盛岡市 751	北上市 748



※推計方法の変更等による推計値の変動あり

📌 農業産出額（耕種）は県内第1位を維持

アクセス性が向上し、物流効率化が図られ安定した産出となっていることが伺えます。奥州スマート IC は、農畜産業の安定化や担い手確保にも寄与しているものと思慮されます。

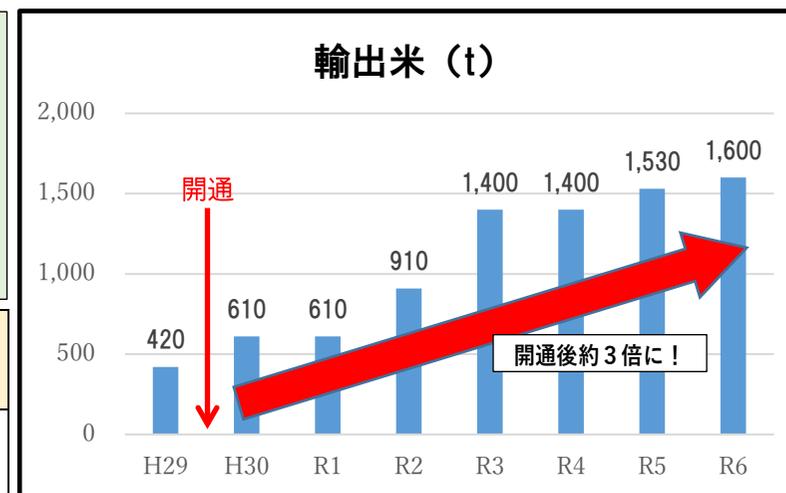
●輸出米の状況

📌 利便向上により、米の輸出も年々拡大

➤ 出荷施設からトラック輸送により東京に出荷し、全国農業協同組合連合会がとりまとめて、シンガポールや香港等に輸出している。（実施計画書（H25.3）抜粋）

奥州スマート IC 開通後、増加傾向にあることから、奥州スマート IC は農産物の物流効率化などにも寄与していることが伺える。

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
輸出米 (t)	390	420	610	610	910	1,400	1,400	1,530	1,600

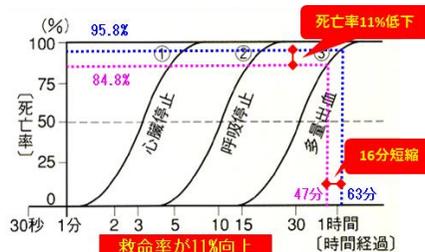
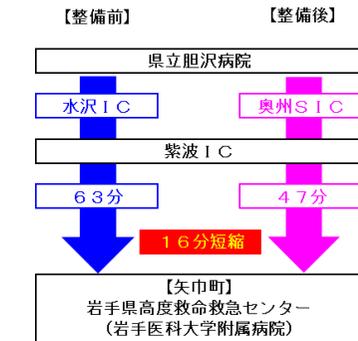


提供データ：市農林部農政課

(2) 救急医療・救急救命率の向上 → 【効果：時間短縮による救命救急率の向上】

- 市内にある第二次救急医療機関である「県立胆沢病院」で対応できない重篤救急患者は、矢巾町の第三次救急医療機関である「岩手県高度救命救急センター（岩手医科大学附属病院）」等に搬送される。奥州スマート IC 開通により時間短縮が図られ、救命救急率の向上が図られた。
- 今後、急速に進展する高齢化社会においては、救急搬送の重要度はさらに高まることから、当スマート IC の利用により救急医療の支援を行う。

《奥州スマート IC 実施計画書（平成 25 年 3 月）から抜粋》



緊急車両利用台数表(台)

H3 0	R元	R2	R3		R4		R5		R6	
4~ 12	1~ 12	1~ 12	1~ 6	7~ 12	1~ 6	7~ 12	1~ 6	7~ 12	1~ 6	7~ 12
62	69	97	82	63	78	88	79	105	109	144
			145		166		184		253	

提供データ：奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部

奥州スマート IC の整備により各医療機関へのアクセス性が向上され、移動時間の短縮が図られました。

R6 実績の利用増加は、重度熱中症患者搬送(特に高齢者増)や市内に診療科のない患者搬送(脳外科等)が考えられます。



奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部消防救急課職員さんの声
(令和 7 年 10 月ヒアリング)

奥州スマート IC は安心・安全な出産の一助にもなっています！

○市内に出産できる医療機関がないため、出産は県立中部病院や北上済生会病院、県立磐井病院などの市外医療機関となりますが、奥州スマート IC は「安心・安全な出産」の一助にもなっている。

出生数【市統計書－人口動態より抜粋】

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出生数	768	779	668	633	624	581	556	436

～【利用者からのコメント】～

【県立中部病院】

娘の通院や出産の付き添いのため奥州 SIC を利用した水沢南地区在住・50 代男性

奥州スマート IC 1km 圏内のため普段から利用していますが、妊婦を乗せて運転するのは気を使うので、一般道をほとんど走行せずアクセスできるのは非常に助かりました。また、不測の事態にも時間短縮できるので、安心でした。

【県立磐井病院】

妊婦健診や出産後の母子健診で奥州 SIC を利用した胆沢小山地区在住・30 代女性

初産だったこと、また、赤ちゃんを乗せての運転には自信がありませんでしたが、居住地の近くにスマート IC が出来たので、安心して通院することが出来ました。今後も活用したいと思っています。



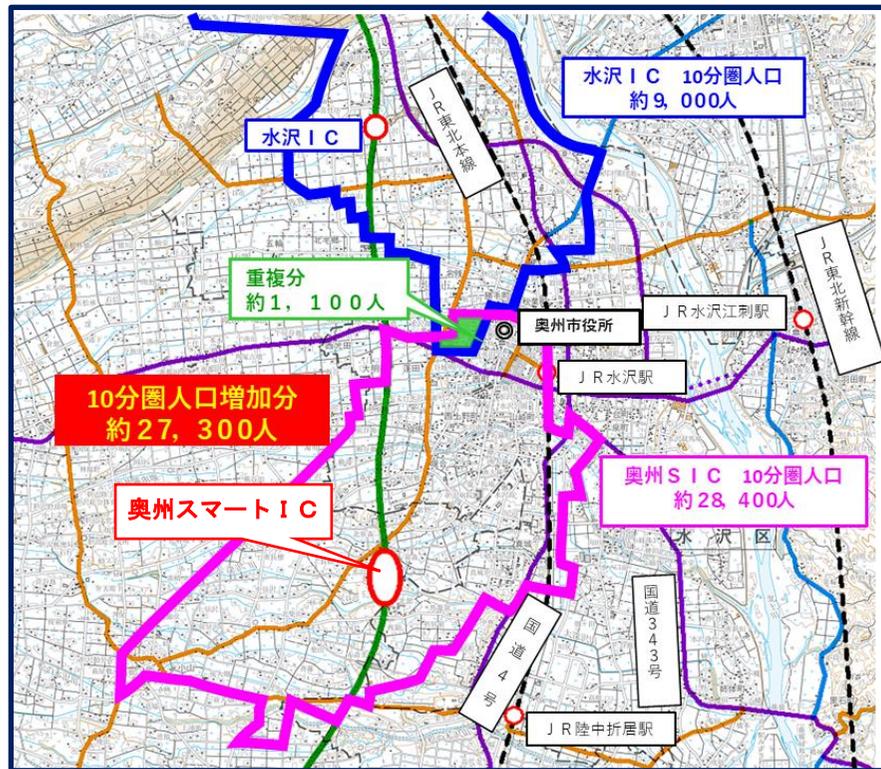
(3) 居住者の利便性の向上 → 【効果：ICアクセス10分圏人口の増加(約27,300人),仙台方面への利便性の向上】

- 奥州スマートIC利用者へ実施した「利用者アンケート(H31.4実施)」の移動時間の短縮に関する質問では、87%が時間短縮されたと回答。
- また、開通して“良くなったこと”の質問では、「移動時間が短くなった」が52%、次いで「高速道路が利用しやすくなった」が35%と、利便性向上に関する回答の割合が多かった。更に、約39%の利用者が「奥州スマートICの開通に伴い高速道路の利用回数が増えた」と回答し、約96%の回答者が「開通して良かった」と答えている。

【地域住民の声】

短時間で安全に移動できる上、休日はETC割引もあるため、近隣市町への移動に利用しています。整備していただき、大変感謝しています。

令和3年7月広報おうしゅうより



《奥州スマートIC実施計画書(平成25年3月)から抜粋》

【平成31年4月奥州スマートIC利用者アンケート調査概要】

供用後1年を経過した奥州スマートICにおける利用者動態及びニーズを把握し、整備効果の検証と今後の利用促進に活用するため、利用者アンケートを実施〔アンケート結果は市HPで確認できます〕

- 調査日時
 - 平日 H31.4.26(金) 7:00~19:00 [12時間]
 - 休日 H31.4.29(月) 7:00~19:00 [12時間]
- 調査場所
 - 奥州スマートICの上下線乗口、降口 計4箇所
- 回収率



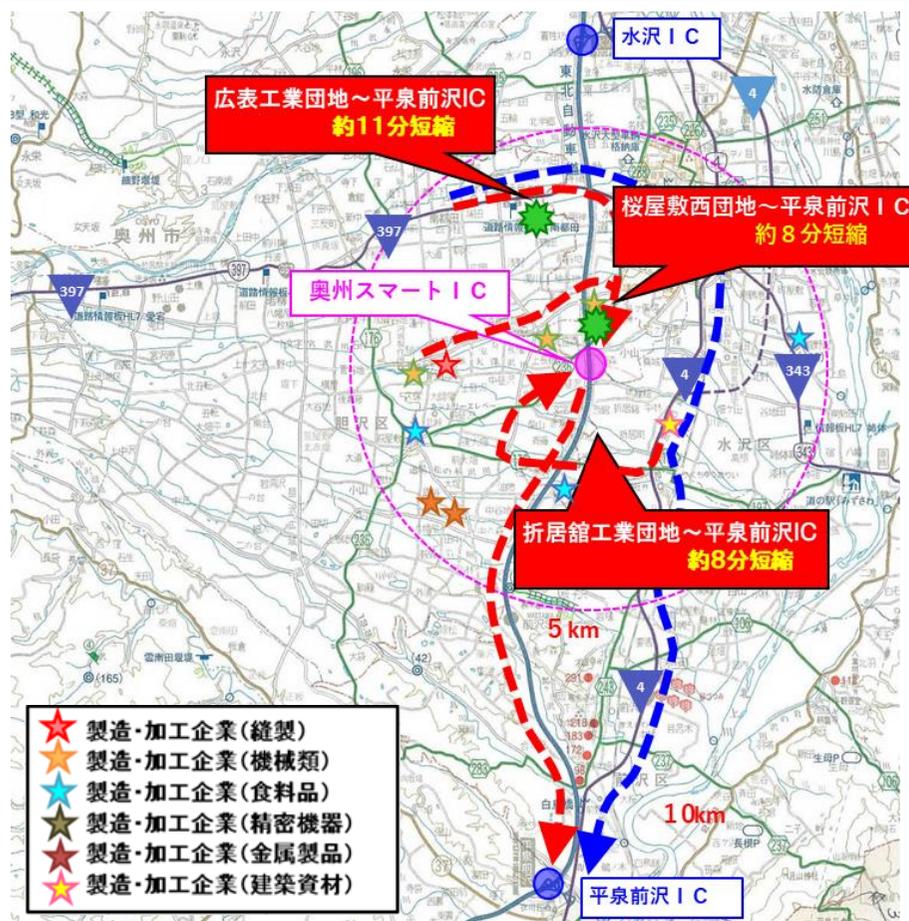
アンケート配布日	上り線		下り線		配布数 (合計)	回収数 (合計)	回収率 (%)
	乗口	降口	乗口	降口			
平日 H31.4.26(金)	220	206	150	157	733	170	23.2%
休日 H31.4.29(月)	263	172	156	355	946	221	23.4%
2日間の合計	483	378	306	512	1,679	391	23.3%

仙台方面

仙台方面

(4) 製造業への効果 → 【効果：奥州スマート IC 周辺企業からの運搬時間の短縮】

- 令和3年6月から8月にかけて奥州スマート IC 5 km圏内の企業 14 社に整備効果のヒアリングを行ったところ、11 社が「整備効果を感じている」と回答し、うち3社が「スマート IC を活用した企業活動の効率化を検討できる」としている。
- また、時間短縮も概ね 10 分程度が多かったが、中には『30 分の時間短縮が図られた』と回答した企業もあった。



《奥州スマート IC 実施計画書 (平成 25 年 3 月) から抜粋》

【奥州スマート IC を利用している企業さんの声】(R7.11 ヒアリング)

○整備効果

- ・県外方面への出荷等、時間短縮が図られ物流に良い影響が出ている
 - ・運転時間が短くなり、かつ一般道に比べて人身事故の可能性が低い
 - ・営業や出張等の移動時間が軽減され業務の効率化にも繋がっている
 - ・人の往来が円滑となり、通勤にも利用している方もいる
- 等

奥州スマート IC 5 km圏内にある広表工業団地に 2 社が新規立地

令和3年9月に広表工業団地(オーダーメイド方式)に運送業と食品加工工場の2社が立地。

大型車の利用



広表工業団地の立地状況

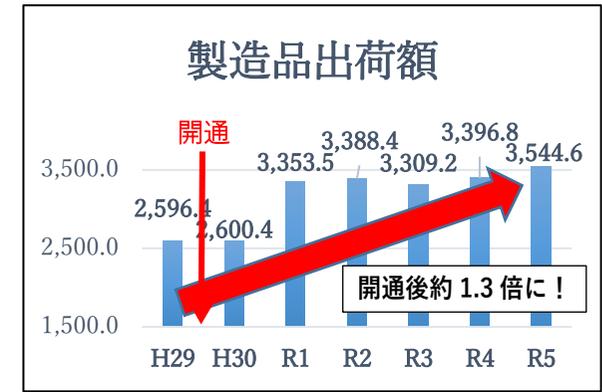


● 県内製造品出荷額等の状況

単位：億円

上位		1	2	3	4	5				
R 5	金ケ崎町	7,357.5	北上市	5,673.4	奥州市	3,544.6	花巻市	2,494.9	一関市	2,261.0
R 4	金ケ崎町	6,691.0	北上市	6,424.7	奥州市	3,396.8	花巻市	2,442.4	一関市	2,158.6
R 3	金ケ崎町	5,629.6	北上市	3,607.3	奥州市	3,309.2	花巻市	2,192.6	一関市	1,894.9
R 2	金ケ崎町	5,911.2	北上市	3,851.7	奥州市	3,388.4	花巻市	2,335.2	一関市	1,884.2
R元	金ケ崎町	6,123.4	北上市	4,139.2	奥州市	3,353.5	花巻市	2,437.5	一関市	2,094.9
H30	金ケ崎町	5,799.0	北上市	3,899.6	奥州市	2,600.4	一関市	2,091.6	花巻市	1,929.3
H29	金ケ崎町	5,143.8	北上市	3,643.0	奥州市	2,596.4	一関市	2,035.9	花巻市	1,811.7

出典：経済産業省経済構造実態調査



👉 製造品出荷額等も年々増加

◆ 奥州スマート IC の 5 km 圏内にある広表工業団地で 1 社 立地調印！ ◆

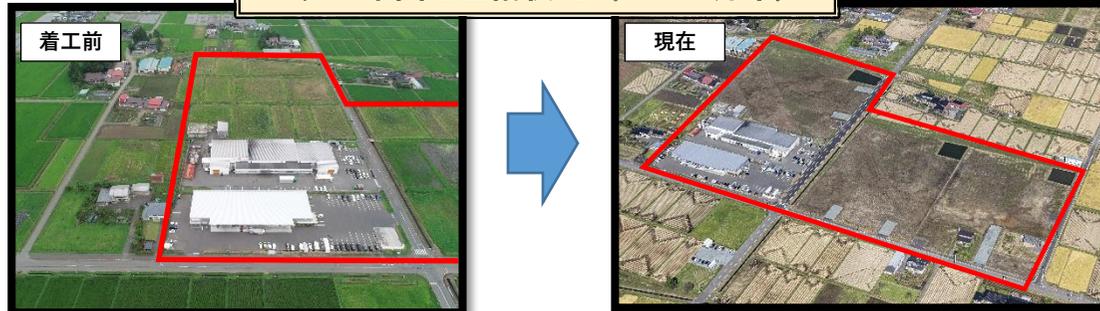
- 令和 7 年 11 月完成（現在、予約受付中）。
- 半導体製造装置や社会インフラ用装置などの制御盤・分電盤の設計・製造を軸に事業を展開する（株）クボテックと立地調印（R7.10.7）。

（株）クボテックとの立地調印式（R7.10.7）



工場は、令和 9 年 1 月操業予定

広表工業団地整備状況（R7.10 月末）



〔市企業振興課からのコメント〕 奥州スマート IC は、生産性の向上や雇用創出など、地域経済の活性化に寄与している。

(5) 観光客の増加 → 【効果：観光客・交流人口の増加】

- 奥州スマートIC 利用により、市中心市街地はもとより、焼石岳、国立天文台水沢 VLBI 観測所、水沢競馬場等の観光施設やイベント等へのアクセスが向上することから、観光客の増加が見込まれ地域の活性化が期待される。また、奥州スマートIC 利用者へ実施した「利用者アンケート(H31.4 実施)」では、観光・旅行目的で奥州スマートIC を利用した人が全体の 18% という結果を得ている。今後は、当スマートIC から 5 分圏内にある国立天文台水沢 VLBI 観測所への来場者の増加や国内最大級のロックフィルダムとして知られる胆沢ダム周辺で開催される「カヌージャパンカップ」「ダムフェスティバル」等、東北や首都圏から多くの愛好者や観光客の増加が期待される。
- コロナ禍により減った観光客等も、イベント等の再開により少しずつ回復傾向にあることから、今後も市内連携を強化し観光客の増加に繋がる施策を展開する。



おうしゅう旅浪漫

<https://www.city.oshu.iwate.jp/kanko>

●観光客入込客数（主要施設及びイベント）

▽主要施設

施設名	開通前			コロナ前						(単位：人)	
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	H29年比	R元年比
歴史公園えさし藤原の郷（江刺）	126,850	131,239	135,468	154,477	95,971	94,132	121,677	140,667	175,987	34.1%	13.9%
高野長英記念館（水沢）	2,298	1,873	2,355	2,303	1,582	1,330	1,759	1,902	2,042	9.0%	△11.3%
斎藤實記念館（水沢）	1,948	2,095	2,476	2,748	2,182	1,311	1,570	1,782	2,043	△2.5%	△25.7%
後藤新平記念館（水沢）	3,658	4,256	4,296	5,455	3,255	2,715	2,924	3,460	3,344	△21.4%	△38.7%
埋蔵文化財調査センター（水沢）	11,461	11,872	10,048	5,665	2,224	2,058	3,976	4,420	5,644	△52.5%	△0.4%
牛の博物館（前沢）	15,302	11,841	14,501	12,435	6,212	6,393	10,424	14,132	13,144	11.0%	5.7%
合計	161,517	163,176	169,144	183,083	111,426	107,939	142,330	166,363	202,204	23.9%	10.4%

▽イベント

イベント名	(単位：人)											
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	H29年比	R元年比	
水沢・日高火防祭（4月開催）	90,000	99,000	102,000	112,000	開催中止	開催中止	開催中止	※80,000	※70,000	△29.3%	△37.5%	
水沢・水沢公園桜まつり（4月開催）	34,000	35,000	30,000	31,000	開催中止	開催中止	開催中止	※10,000	※28,000	△20.0%	△9.7%	
江刺・江刺甚句まつり（5月開催）	29,000	29,000	28,000	29,000	開催中止	開催中止	※3,500	30,000	28,000	△3.4%	△3.4%	
いわて奥州きらめきマラソン（5月開催）		27,000	26,000	33,000	開催中止	開催中止	※3,300	14,000	14,000	△48.1%	△57.6%	
前沢・牛まつり（6月開催）	45,000	38,000	45,000	45,000	開催中止	※700	※650	45,000	30,000	△21.1%	△33.3%	
水沢・夏まつり（8月開催）	37,000	38,000	35,000	41,000	開催中止	開催中止	開催中止	廃止	廃止			
水沢・奥州秋まつり（9月開催）							70,000	60,000	55,000			
その他祭り・イベント	252,700	242,200	255,200	225,850	18,450	5,190	58,264	158,950	152,910	△14.2%	△8.0%	
合計	487,700	508,200	521,200	516,850	18,450	5,890	135,714	397,950	377,910	△25.6%	△26.9%	

●いわて奥州きらめきマラソン：日本陸連公認大会

※規模縮小で開催

●令和4年度より開催内容を見直し、秋まつりと産業まつりは合同開催となる。水沢夏まつりは、奥州秋まつり及び他のイベントに再編。

提供データ：市商工観光部商業観光課、協働まちづくり部生涯学習スポーツ課

水しぶき上げ真夏の熱戦「カヌー・ジャパンカップ」開催

- 令和7年8月2日～3日に“2025 カヌー・ジャパンカップ”が奥州いさわカヌー競技場で開催されました。
- 奥州スマートICの供用により、アクセス性が向上され、市内外から550名の選手・観客が集い、賑わいが創出。



開会式の状況



SIC下り出口にのぼり旗を設置

2022 カヌー・JAPANCAP ナンバープレート調査結果（令和4年8月7日（日）実施）

県別	台数	割合	地方別	台数	割合
岩手県	185	71.4%	東北	211	81.5%
青森県	5	1.9%			
宮城県	6	2.3%			
秋田県	8	3.1%			
山形県	5	1.9%			
福島県	2	0.8%			
茨城県	2	0.8%	関東	32	12.4%
栃木県	1	0.4%			
埼玉県	8	3.1%			
千葉県	5	1.9%			
東京都	13	5.0%			
神奈川県	3	1.2%			
新潟県	2	0.8%	中部	10	3.9%
富山県	1	0.4%			
山梨県	1	0.4%			
長野県	2	0.8%			
岐阜県	2	0.8%			
静岡県	1	0.4%			
愛知県	1	0.4%	近畿	2	0.8%
滋賀県	2	0.8%			
岡山県	3	1.2%	中国・四国	4	1.5%
高知県	1	0.4%			
n=259		100.0%	n=259		100.0%

※奥州市調べによる



競技状況

【競技者・来場者からのコメント】

- ・40代男性（千葉県野田市在住）
今回初めて利用したが、会場へ近くとても良かった。また利用したい。
- ・50代男性（宮城県仙台市在住）
奥州市に実家があるので、時々利用している。
- ・40代男性（岡山県岡山市在住）
直接来場するなら、奥州スマートICが便利である。
- ・40代男性（滋賀県大津市在住）
今回知ったので、次回からも利用したいと思っている。